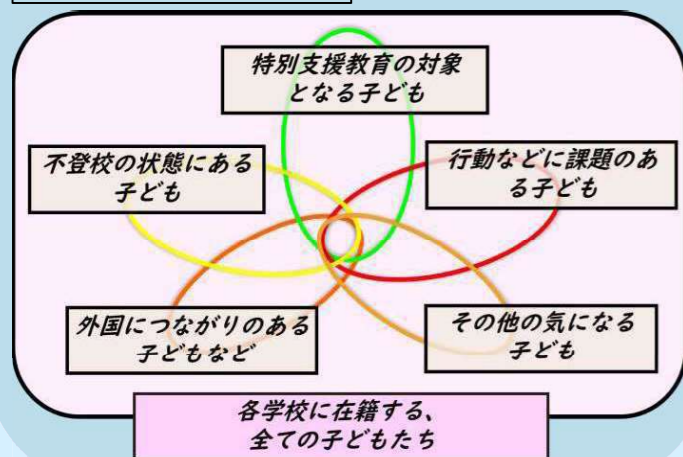


支援教育リーフレット (Educational Support for All Students) について

「支援教育リーフレット」は、全ての教員の支援教育の専門性向上を目指し、総合教育センターが発行するリーフレットです。

神奈川県が取り組んでいる支援教育は下の図のように全ての子どもの教育的ニーズを対象にしています。Vol.3-Iは、「教育のユニバーサルデザインの視点を広げる」をテーマとしています。

神奈川の支援教育



「支援教育リーフレット」活用する方法

☆小・中・高等学校等の先生は支援教育への入口としてご活用ください。

このリーフレットは、支援教育に関する基礎的な内容をできるだけコンパクトにまとめています。目の前の気になる子どもたちを、どう支援していけば良いだろう?という時に開いてみてください。

☆特別支援学校の先生は、地域の学校等での研修や情報提供等を行う際にご活用ください。

センター的機能の一環として、小・中・高等学校等より研修依頼等を受けた際の導入資料や情報提供資料としてご活用ください。

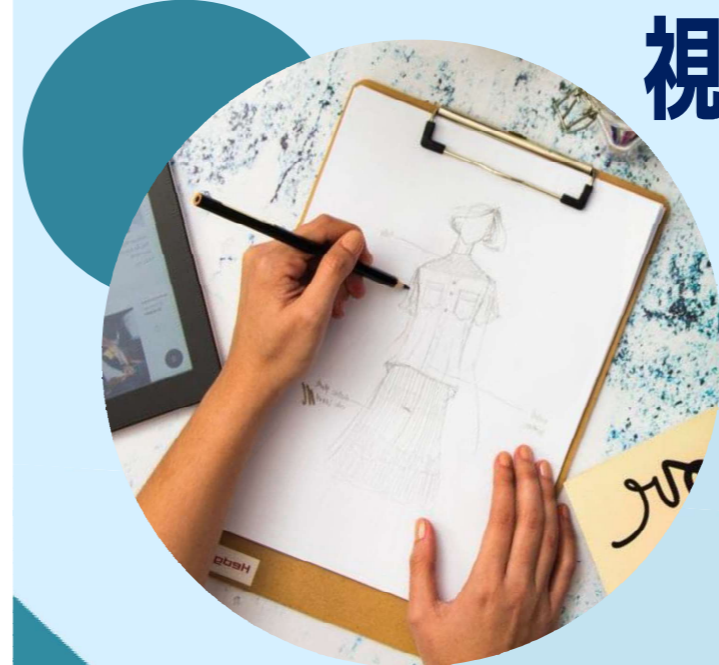
オーダーに応じて、リーフレットの内容を発展させたり、ワークシートは、研修を展開していく際の「ツール」として、ご活用ください。関連情報リストを検索し、事前準備にもお役立てください。

支援教育
リーフレット
EDUCATIONAL SUPPORT FOR ALL STUDENTS

Vol. 3 - I



教育のユニバーサルデザインの 視点を広げる



「関連情報リスト」詳しい情報はこちら! ※キーワード検索はキーワードをのせています

キーワード検索はこちら!

文科省 障害のある子供の教育支援の手引き

文科省 共生社会

NISE インクルDB

神奈川県立総合教育センター 教育のユニバーサルデザイン

高等学校初任者のための授業づくりガイド

関連書籍はこちら!

『通常学級のユニバーサルデザイン スタートダッシュQ&A55』阿部利彦 東洋館出版社

『授業のユニバーサルデザイン入門〜どの子も楽しく「わかる」授業の作り方』小貫悟・桂聖 東洋館出版社

参考文献等

- ・文部科学省 ウェブページ > トップ > 政策・審議会 > 審議会情報 > 中央教育審議会 > 初等中等教育分科会 > 特別支援教育の在り方に関する特別委員会 > 共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進(報告) > 共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進(報告) 概要
- ・文部科学省 ウェブページ > トップ > 政策・審議会 > 審議会情報 > 中央教育審議会 > 初等中等教育分科会 > 資料1 特別支援教育の在り方に関する特別委員会報告 1 > 3. 障害のある子どもが十分に教育を受けられるための合理的配慮及びその基礎となる環境整備
- ・文部科学省 ウェブページ > トップ > 教育 > 特別支援教育 > 特別支援教育について > 障害のある子供の教育支援の手引〜子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて〜
- ・小貫悟・桂聖 2014『授業のユニバーサルデザイン入門〜どの子も楽しく「わかる」授業の作り方』東洋館出版社
- ・授業のユニバーサルデザイン研究会 桂聖ほか 2014『授業のユニバーサルデザイン Vol.7』東洋館出版社
- ・阿部利彦ほか 2017『通常学級のユニバーサルデザイン スタートダッシュQ&A55』東洋館出版社
- ・全国特別支援教育研究連盟 2017『特別支援教育研究 No.714』東洋館出版社
- ・関田聖和 2018『インクルーシブ教育の基礎・基本と学級づくり・授業づくり』黎明書房
- ・神奈川県立総合教育センター 2010『明日から使える支援のヒント〜教育のユニバーサルデザインをめざして〜』(冊子)
- ・神奈川県立総合教育センター 2018『教育のユニバーサルデザイン〜小中一貫(小中連携)の視点から〜』
- ・神奈川県立総合教育センター 2022『高等学校初任者のための授業づくりガイド 令和4年度版』(冊子)
- ・神奈川県立総合教育センター 2022『子ども一人ひとりの成長を支える 特別支援学校新任教員 サポートブック』(冊子)
- ・神奈川県立総合教育センター 2022『教育相談コーディネーターハンドブック』(冊子)

神奈川県立総合教育センターの冊子等は
神奈川県立総合教育センターウェブページ
よりダウンロードできます。



神奈川県立総合教育センター
〒251-0871 神奈川県藤沢市善行7丁目1-1 TEL (0466) 81-0188 (代表)

神奈川県立総合教育センター

<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/edu-ctr/>

※このリーフレットは、当センターの「特別支援教育の専門性向上に関する研究」の成果物として発行するものです。

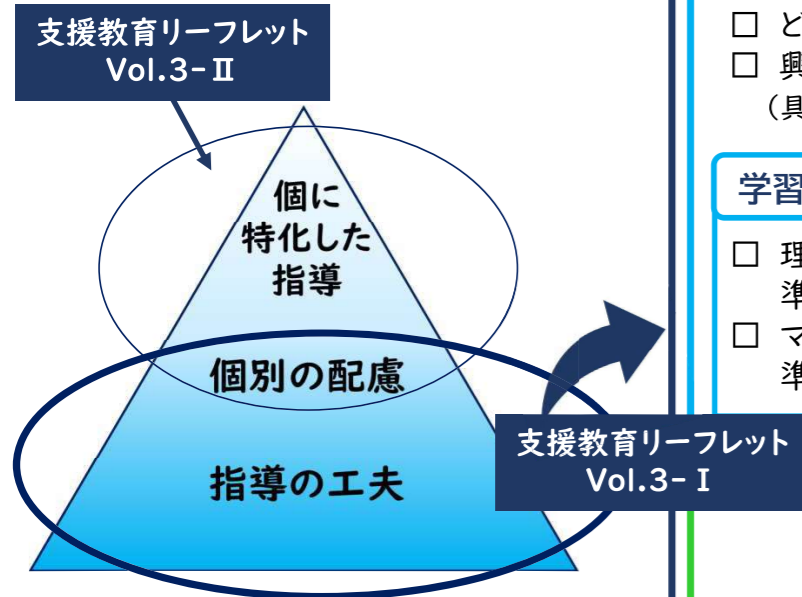
教育のユニバーサルデザインの視点を広げましょう！ → → → 考えたことを共有してみよう！

教育のユニバーサルデザイン

障害者基本計画では、ユニバーサルデザインを「あらかじめ、障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう、都市や生活環境をデザインすること」としています。教育のユニバーサルデザインとは、「より多くの子どもたちにとって、わかりやすい、学びやすい教育のデザイン」のことで、「教育のユニバーサルデザインを具現化するためには、人的環境、教室環境、授業の三つのユニバーサルデザイン化を柱にしてバランスよく取り組むと効果的である」と言われています(阿部,2017)。
 様々な実践を取り入れるとき、今そこにいる子どもたちにとってわかりやすいかどうかという視点を忘れずに、児童・生徒の理解を深めることも重要です。

すべての子どもたちが
わかる！できる！

「すべての子どもたちがわかる!できる!授業」を進めるにあたり、下図の三段構えによる指導の考え方が用いられることがあります。



本リーフレットVol.3-Iでは、三段構えによる指導の考え方のうち、基盤となる「指導の工夫」について取り上げました。この部分が充実し、厚みを増すことでより多くの子どもたちのわかる!できる!につながります。一方で、「すべての子どもたちがわかる!できる!」ために欠かせない視点は他にもあります!
 「支援教育リーフレットVol.3-II」では、「個別の配慮」「個別に特化した指導」について紹介しています。併せて参考にしてください。

授業のユニバーサルデザインの例

*中心は「視覚化」「焦点化」「共有化」と言われています。

視覚化(見える化)	焦点化(わかりやすい授業)	共有化
学習内容や考え方・資料等を図解や画像の視覚情報として示すこと。 例) 今日やることや学んだことを視覚化する	学習目標や内容を絞り込んで授業展開の構造をシンプルにする。 例) ねらいを明確にし、展開に山場をつくる	話し合い活動など学ぶ内容等を互いに共有して確実に定着させる。 例) ペアワークなどで理解を共有する

- 活動時間の提示(タイマー)
- 文字を見やすい大きさにする
- ページ数、本日の目標内容を書く
- チョークの色に注意する(赤・緑は使用しない)
- どこを取り組んでいるかわかる工夫(マグネット等)
- 興味関心が持てたり、イメージしやすくなる工夫(具体物や書画カメラ、タブレット端末の活用)

- 簡潔にゆっくり話す
- 具体的な言葉をつかう(×ちゃんと、きちんと)
- 注意を向けさせる工夫
例) 「今から大事なことを2つ言います」

- まとめ上手な子どもの意見をモデル提示する
- ペアワークで理解した内容を伝え合う
- グループ活動での学びを学級全体で共有する

学習方法を選択できる工夫

- 理解度に応じたプリントを準備し選択できるようにする
- マス目や行間の違う用紙を準備し選択できるようにする



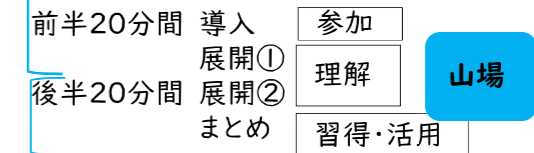
授業のユニバーサルデザイン
より多くの児童・生徒が「わかる」ことを目指して、授業づくりを進めること



展開の構造化

授業では「展開の構造化」も有効と言われています
 授業の進め方、説明の方法、何を体験させるかなど、授業の展開を構成する(小貫,2014)

例) 2展開構造



教育のユニバーサルデザイン

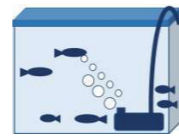
教育環境のユニバーサルデザイン

児童・生徒が教室等の学校内で落ち着いて過ごし、学習に集中できる環境づくりを進めること

例

刺激になるものの調整

- 水槽のポンプや小動物の回し車など、音の出る物は、気になりにくい場所に置く
- 中身の見える棚は、布で覆って、目隠しをする



教室の前面の工夫

- 掲示物は、必要最低限にする
- 掲示物に、同色の台紙をつける
- 掲示物の四隅はしっかり留める



物の置き場所

- 教室内の物は、置き場所を決める
- 専用の箱を置く
- 物の置き方が一目で分かるように整理をする



学級ルールの一掃と掲示

- 学級のルールを統一する
- 学校やクラスのルールを、教室前に掲示する

人的環境のユニバーサルデザイン

学級の雰囲気をやわらかくし、児童・生徒が学び合うための環境づくりや関係づくりをすること

例

居心地の良い教室

- 児童・生徒が周囲に受け止められ、安心していられる場所
- 児童・生徒が自分の役割を果たし、認められる場所

教員の言葉遣いの工夫

- 禁止や否定の言葉ではなく、短く具体的で肯定的な言葉を使用
 ×「～をしてはいけません」
 ○「～をしましょう」

雰囲気づくりの工夫

- 「わかったこと、むしろわかったこと」を伝え合うペアワークの設定
- 「わからない」ときに、「わからない」と言える学級づくり
- 望ましい行動時に、その行動を具体的な言葉で伝えフィードバックする

